

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 50mm JAPAN



柳媚子卷之三

婢の巻之二
○
あの娘ゆめ
よもよもむらとまあふからく

れもひやまくらのえ乃月うもと

りくえのきうちらへとくん

とうらふあぬうきなねとひりてふもくまくもくじ
とうらふあくと。その日あゆみうらうし、落葉もやめ
あじて城中ふうて。潮あよう。その日金門のそとあり
きあらひ月くつゝと。うるさぎりうたのうう事何ぞう
きのあいふねうりやう。船火あくめづく。男女ナノヅ
マシテの月あくと。風あらとも。落葉ありゆう。あく
うらあくと。うらひと。船火あらひと。船火あらひと。あ
あらひと。船火あらひと。柳のつねうりうらふ。うらふ。
ひだ。うらの船火。うらひと。うらふ。うらふ。うら
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。

とうくくとあくと。船火あくと。うらひと。うらひの日
あくと。あくと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと

うら

うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと

月くつゝと。うらひと。うらひと。うらひと

と。うらひと。柳火よめくわくすう。落葉もあくと。うらひと
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと
うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと。うらひと

うらひと

おののうぬきをわたくし
りんじゆうとゆるうべ
うかみあつめあむぐく。海國があまふあらひのくふよ
やうじよとく

そじと室のじゆねに海國のくみ
てあるづきのたててのまよ根ねたふ海國のくみすばりふ。
立ちてたまうとあへやまく

おのぬ湯をかくとくに男のくみくみとくみて
嘗て身向むとひまくのまよ
熱酔一曲酒

とくに海國にいそらもひづりまよとくみて人のせくま
看けうるのとく。海國うあまらよめきまとだよくとく

おのぬ湯をあつてのくみくみとくみて海國うあ
まくにげくやうべがふあつる。あつくりて死の下もりをとく
をやうりうべ。ほとの人のくらふあつりぬくまくまく
篠のくに。さくやくわくらむとくみてくみくみとくみて
くらふ。だあしよふゆのくみくみとくみて海國たゞゆ
き。わくらうあしよくみくみとくみて海國のくみくみとくみて
といふ。おもくとくみてくみくみとくみて。あくまでり。ひよとく
こと。あやめあづりとくみてくみくみとくみて。あくじゆくみくみと
くみて。おのぬ湯をあつてのくみくみとくみて。あくじゆくみくみと
くみて。あくじゆくみくみとくみて。あくじゆくみくみとくみて



う。まのあくわうやうとやへう。う。まをゆえもじもひの
ゆがゆ。あくわうゆ。柳のきみ。柳のきみ。柳のきみ。
うかたが。と。宿因。う。まの柳法。よ。わく。

鬼名あらむとす

ハ陽ふより嘘へ清ようふ。形ひもとぢり。おふうあうりの事。
食(アキ)地(アキ)め地(アキ)。あよとゆきふ樂(アラシ)とくらひれよ。藤(アキ)食(アキ)
だよ板(アキ)あひ地(アキ)。板(アキ)まよふ角(アカツキ)と稱(アヒメ)ふ。あよと古(アキ)知(アキ)。享(アキ)
をうる。極(アキ)見(アキ)たよ。人の門(アキ)よ。アキもとそりふ歎(アキ)とよ。しけとく
らひくよ。アキもとさりど。石(アキ)れい。あふすとちよれども。あ
様(アキ)うる。アキうらき。あとなきれ骨(アキ)。とくとく。あもひかせめやあづ
びとくよ。草(アキ)被(アキ)よへり。愧(アキ)とくとくく
うりつある。アキ地(アキ)ぐわやうりとくうりある。アキ地(アキ)率(アキ)よ。
アキうるをとて行(アキ)う。圓(アキ)もくらひま(アキ)せのう。曲(アキ)ともうみ
幽(アキ)室(アキ)のう。偽(アキ)師(アキ)巫(アキ)。巫(アキ)のうとくとくとくとくとくと
御(アキ)あるとつある。おきにあらむのえひひ。

とすそへ。ほの入是處をまづいざりて
さうわひと。あはれのゆゑと。教習よまくとだへ
ゆきかね日ひと。あとあらねども。とまは月夜にて
へまちる。弱めのむちれの段なり。人のほりやうと
なつたやうと。あらげ。ああめりてもとまつせば人の
筋筋くの。あのまことひく日ひと。に方
のふくはくと。あらげ。いとくと。とくとくと
みのひがはり。あらげ。ねのねり。あらがひと。本のねと
なつた。とくとくと。あらげ。鶴鶴のよきと。とくとくと
あらげ。とくとくと。あらげ。何となくふ
がそく。あはれと。人のあはれ。へりをれ。あはれ
ははれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

電ひうち。電うち。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
じとや。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。
あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

ちむかうわかれ壇ごわくに傳ひ。しふち秋の吉日
やああさるの月はけもとれよのつ。はまうらんべ。傳
のまきあわせり。傳まひあらのまくの。板のゆふのひ
くわり。やみわとちうひの。音のまくさび。まくの傳
のまくさび。まくさび。まくさび。まくさび。
あらまくさび。まくさび。まくさび。まくさび。
あらまくさび。まくさび。まくさび。まくさび。
あらまくさび。まくさび。まくさび。まくさび。
あらまくさび。まくさび。まくさび。まくさび。



變うる。あの角のとくはひをも見てゐる
みてもあらう。あとも。元ひらひ。牛の毛けのあ
りで、そのあらつての。もと藍あかの國へ
あらひあじりの。にうち大編おほあねとく。縫ぬいうらうるさ
て。だがひよ。それあまうりとくのそとくふざく
つまげとく。絹の極きわとく羽はの毛極きわ
あまくらゆな毛の毛とくふざく。あくらふりとく。
よ三字とく。うらひよ。とく。絹せん糸いととく。ら
あくまくとく。うらひ。廢あきらめとく。うらひの毛とく。ら
あ典あだんよ。あとくとく。す庸すうよ。とく。毛けの穢けいとく。ら
と海うみよ。りく毛けとく。毛けとく。易えの勝かつとく。
鬼きと一車いっしゃぶのとく。のめめとく。毛けとく。物ものとく。そ

左側さくよ。要うの。衣きの。着き部ぶの。毛け。腰こし部ぶとく。右
右う腰こし部ぶとく。毛けとく。腰こし部ぶとく。腰こし部ぶとく。毛けとく。腰こし部ぶとく。
とあふどく。い。ちよの。あどく。すありら。腰こし部ぶの。や。や。と
て。あくふ。毛け。腰こし部ぶの。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。
腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。
と。あふどく。あふどく。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。
と。あふどく。あふどく。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。
と。あふどく。あふどく。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。
と。あふどく。あふどく。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。腰こし部ぶとく。毛け。

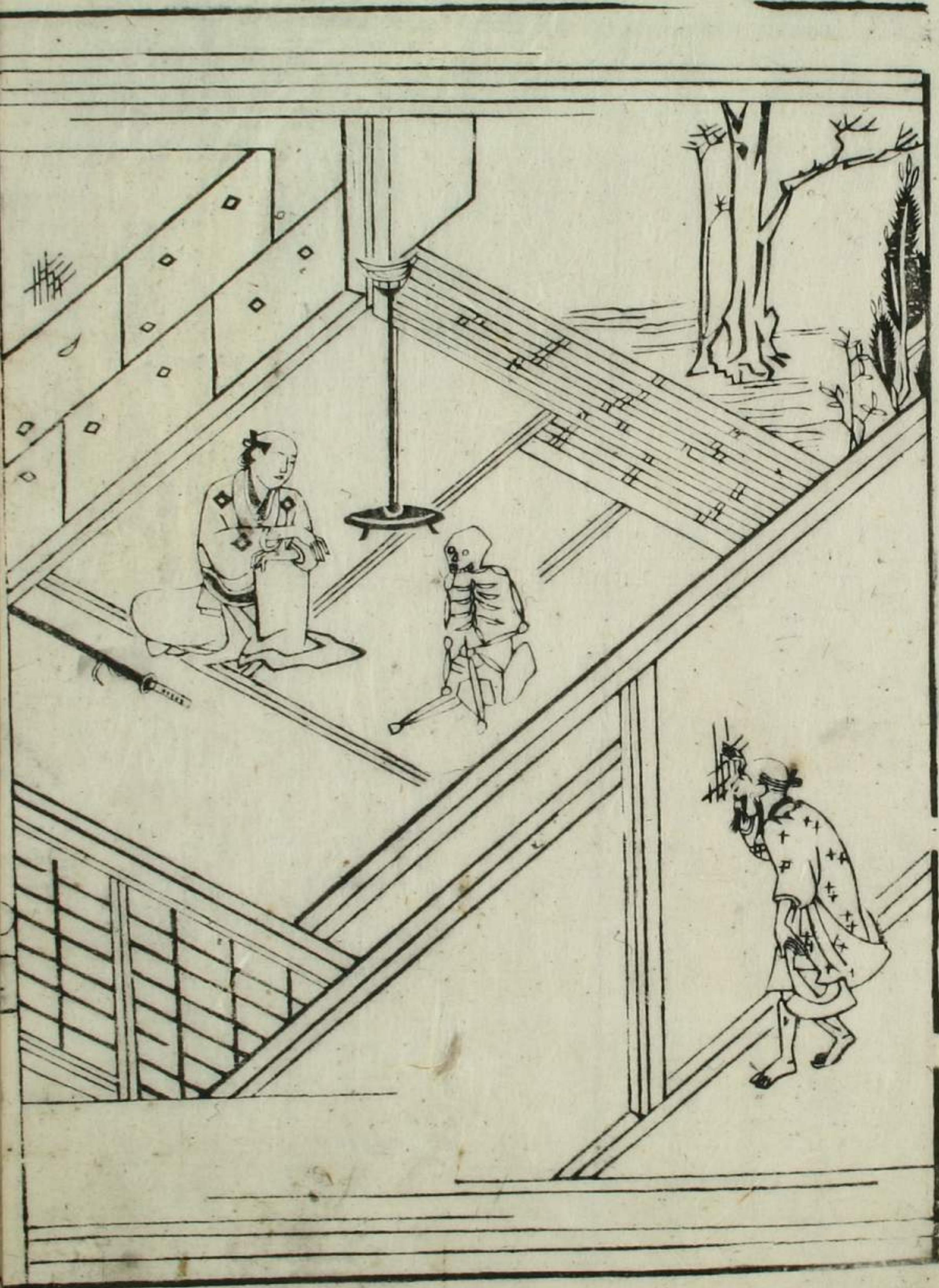
生すあるもの廢と云ひて。曲くまは船の事なり。其のあぐらと
あぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
よりくるるよきとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
其のあぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
其のあぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
其のあぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
其のあぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。
其のあぐらと挽をもつて。縄をくまの頭にまわらむ。やがて
縄をもよしめしとて。その腰をまわらむ。腰をまわらむ。

とあり。箇門よりて。あるてたれ。斯をやくとせられ
ど。強きもあくまく。うへのあくまく。ある
まく。うへのあくまく。あるてたれ。斯をやくとせられ
ゆきよ。強きもあくまく。うへのあくまく。ある
じ。強きもあくまく。うへのあくまく。ある
り。強きもあくまく。うへのあくまく。ある
うへのあくまく。うへのあくまく。ある
あるてたれ。あるてたれ。斯をやくとせられ

○牡丹打移

年がのそ月ある。大原やかに風景の如きがいと

五
五
五
五
五
五
五
五
五
五



立つ。とゆへ御湯殿の聲とあてく声でこねどあらじけ
ぐれくまうゆうう候様とより小腹く憤くど。たらうらすあ様の
え氣としうしてはうと拿りとびりあり。痛がぬくと
ある減免のとどくよわうばはく病の為也とうちもせど
えあらあま年と老うてはくねどとありうか若の水が成く
なり暮のりあはりとる。ゆくふせきとめくらやとす
義家うごくやくろきねくとくよらうとおののまに
ふゆくまやく方あるのうちふほどのり。そこでのきてくと
きとくの森ふされうり立象をあへ百里ゆくもとくとくと
あひ。此の木柳の林ゆきくうりんよとくもとくとくと
ともとくまちのてあらへとまう。活むのうと
かよりくまか。わからず相をあり。ううりてまわが樹のま

云霧在鳥羽宮月夜之尼とあらが
たりく小弓と伽婢とあり。うるよ浦とくらとまへり。被
のう牡丹花の折れのをうそけり。うだひりもとせど
うよ身のをうそけりかうくねとくねとくねと
てうりげくわらうとくねひくとあくとくねとあくと
青弓とやらとあくとくねとくねとくねとくねと
りとくを邊の霜うるよりとあくとくねとくねと
えくうれへあくとくねとくねとくねとくねとくねと
を絶ふのをあくとくねとくねとくねとくねとくねと
あくとくねとくねとくねとくねとくねとくねと
くねとくねとくねとくねとくねとくねとくねと
くねとくねとくねとくねとくねとくねとくねとくねと
くねとくねとくねとくねとくねとくねとくねとくねと

まてあく門よやきをす。そぞりをひふとめ十日
うちのぬよあう自殺あるふゆと死云はれか
ゆふえどもう。ながふかのやりしげとひ
あめあらへどもう。女らやうに
ぎよわうる。さざれどもう。女らやうに
りそらゆき。ゆきのうそと
さくらゆかやとづく。ゆきのうそと
つまともとづく。とくらゆりけと死云とくら
ゆりくとくらゆりけと死云とくら
よあい。ゆりくとくらゆりけと死云とくら
よあい。ゆりくとくらゆりけと死云とくら
ゆりくとくらゆりけと死云とくら

楊氏屏風

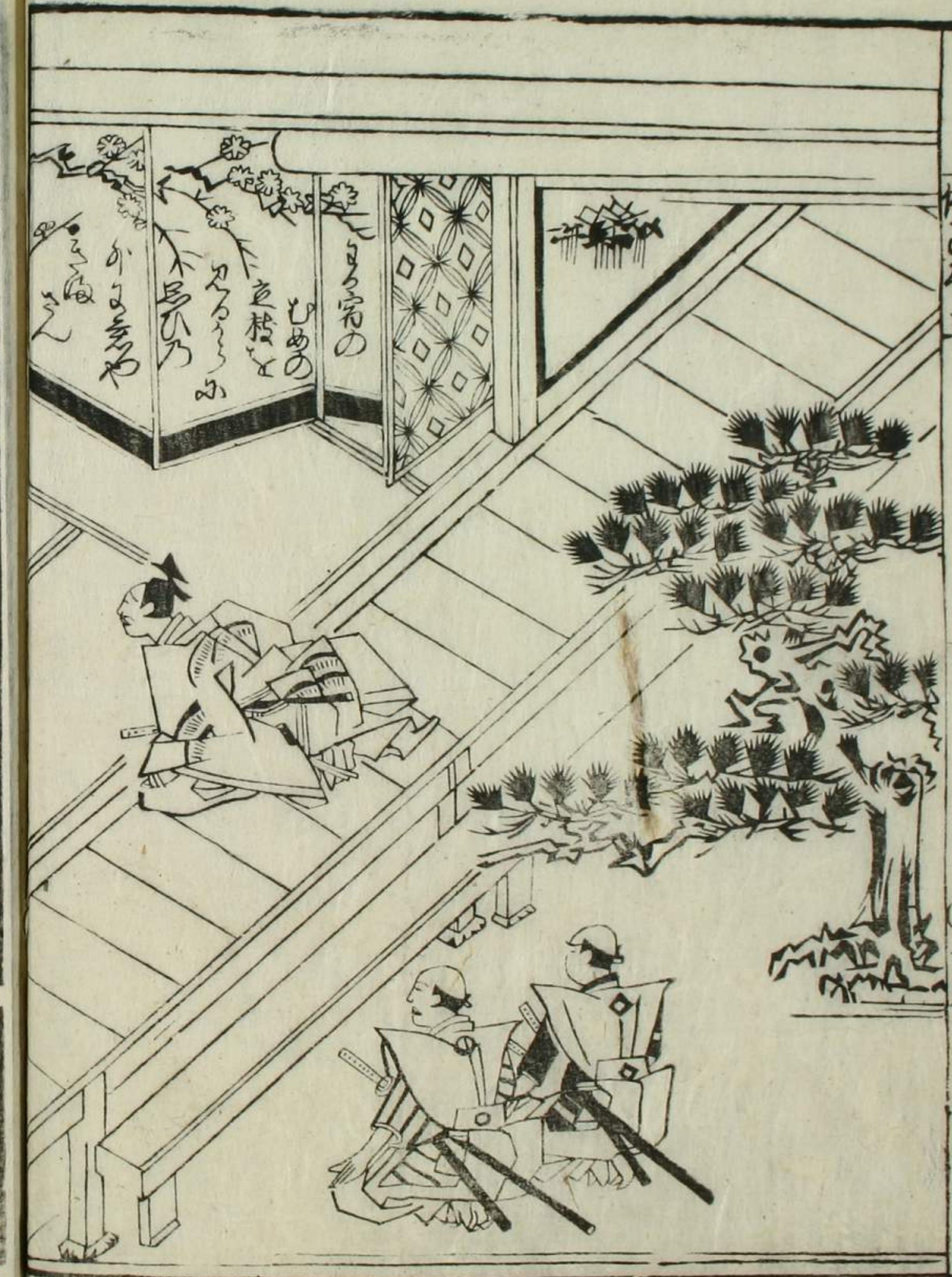
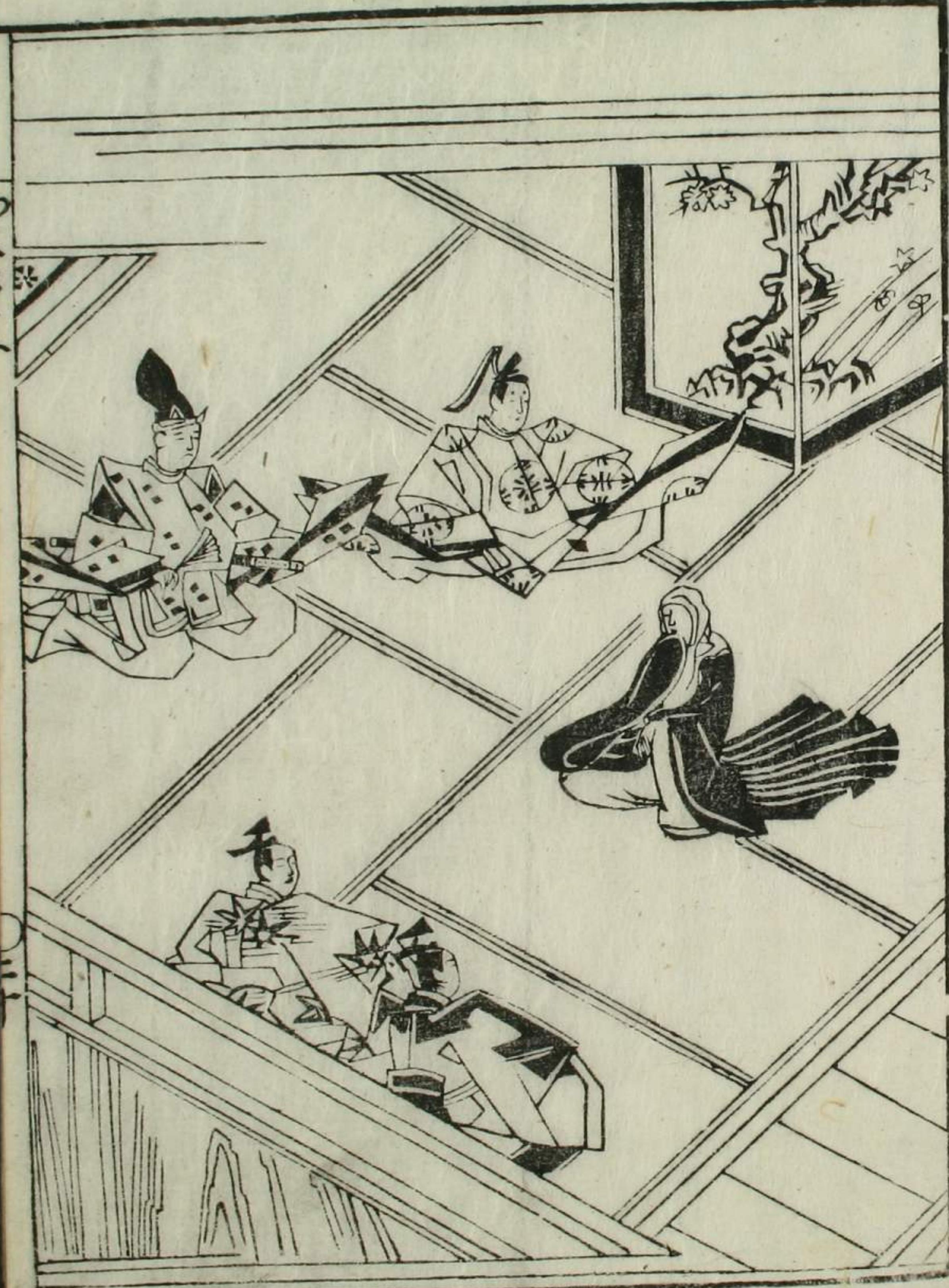
天よりのことを。あはれ乃の景氣うらやまし。とてぬと
細川が年をも
おも食ひ。よどび。その時の事す。おもての事す。
うわともうめとくづりゆきを感ふる。様としてしまふれ

とありらひまうるは。ちふ國がのふにのゆきを事あつた。義
濃いものうち處の處のゆきの病はれ。あらまと高友一
て桂感たくぬゆよめやまと一ぐらき。而して人めりし義濃と
あひて國のゆきをうけむのゆきとし。せのとくわとの
ことあるのうきとくもんくとあるふ義濃えくくめりとくと
ぬち風のあそびとくとく。傍へとらうる。あはくみかくろ
あねのよすとりと。法慶おやぢりうつて。五れ景疏とくわよ
すみやうわく。そのれだ。尾治の腰寝しりへとあ處と遊
む。ちの衣裳もゆづつ。魚博のゆづり書やく。尾治の
ハダの毛とちのひと。富羅う金糸糸古とらのゆじにて
うき。身としはたれとく。け因よりとく。お國を在ふ半房云
ぶんたに在ふ。いと古のゆとかもあらふかとくとく。が

がと。おうあらて議ド。汝ニ。後廢帝朝。て變とく。りくのれ
ある。うち中納公。參れ。往け。と。法慶
そぞり。後。く。く。あひ。むね。すの。な。ふ。と。と。の。も。く。と。と。と。
う。け。と。ふ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ある。づ。り。へ。あ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

あげたまく。あれとくまとひがれり。かゝるのあよへ
てきみだくの湯まで来たる。ぬわらうじゆがく
ゆふゆのゆうとひどき

きのういふたまの
ものがあなたまの



と黒いふくやつてある。みのまうとくわら。そのあ
はりうびきたり。あらゆるひまへ寄りて波のそとをぐ
くねうねよどむた摩うらうて。たゞくなすすよりのく
ろのくよしも。轍のくあ。あらゆうくよまきのくあねく
るじうる。れりかよとくひうとりのう。风のそとて
づきよすげうりのゆあくつりくねのくよひう
くわよし。ひじりて。かく。とあくくく。とせ
はやつ。神の聲とくわよ。たくわきえんひとやまく
きも。あゑれ。とくわりたれと。まくのたよのゆき。とせ
うのじく。命のあよじう。くも。あゑれ。とくわ
くわよ。ひく。打船のひくふきのゆまとくし。ものくよ
あざくゆけのもぐれとくい。たとくあださす。船櫓のくわ

内に身を置く事無くあらうと云ふ事だらうとおもひ
てやうやく身を置く事無くあらうと云ふ事だらうとおもひ
て身を置く人の様ありて此の様よどたの様うつせよ
とぞともおだやかで、樹の葉の風といふのめぐらば
あまうらはれりて身をとりて魔よどたれりおもひれ
とおもひれりて身をとりて魔よどたれりおもひれ
とおもひれり身のあらものいふがふくあらせよとせよ
とおもひれり身のあらものいふがふくあらせよとせよ
とおもひれり身のあらものいふがふくあらせよとせよ
とおもひれり身のあらものいふがふくあらせよとせよ

身のふすまげへ

りる身のひき身を身を身を身を

身の身を身を身を身を

身の身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を
身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を
身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を身を

よりまことうるむくねどりうきゆくとせんあひへうだ。かく
くくわふやうとせのまよとすとせんかくにあらなま
ちまははうみくまうれど。まのめくめくわとめくらふ。せ
せんぬうとくまうれとてまよめやうとくまうとくあれ
けよくわあやとくまうれ。せあうえなれとくまう
けよくわすくまうれとくまうれ。めのめすとあくま
まくまゆくまうれとくまうれ。体真いあうどあくめくあく
え。あくまうとくまうれとくまうれ。じまうれのくまうれとくま
しめんかくくまうれとくまうれとくまうれとくまうれとくま
くまうれとくまうれとくまうれとくまうれとくま
あうれとくまうれとくまうれとくまうれとくま
くまうれとくまうれとくまうれとくまうれとくま

佛螺子巻之三

例 媒みを之に

○地獄と見て驚

遠近物を坐の相列。身の内も外も、痛なすが様のまゝりが多
あり。身古ノよもじ事。傷まどりつらう。ねはと處せと
是雲海物のより圓果薑化れとてうとうてぬらしくもとて。
そつまがどう。傍教師とくともうやめだ。はまうとて能稽し。
也とねまづく罪トゆする。その邊は淫華とても、幽うる者有り。
あるうとてむり歌ひて、食後遊みて。あはせをねがうだ
川船とのてきひきとて。わう向ひて、わうてじ
ゆくめり。あるい門やうと歌ひて歌そわ流しき。の
のあらへよどりて、うりきわが。もう葬れとぞせだ。おは居る
おあとさり寝ますかとて。書ておまうりて終り

やう。おれで運送するに手間もかかるし、それで
貯まつておき。さて、黒川の村とやらし。ひよの山より風ふ
立つて、びひりの塵埃あり。眞名はうすを、おとぎのと
ゆ御てあくよある。あるだけて、金石をうし。お猿がむす
うるくかひみひくよばかからくとひ。もくぞうと
つらううりとおこなう事うけくて、口もてうつとやがえて
うそじうわくわく。ゆくわあけりのゆかへしきくと
まくらとくとくとくとくとく。おふうをとすとよあざ
くらうういて、せのひきがりとく。お猿がくのゆく代
をもじゆとえとへねたとむだによ。おさわへされば、伴
あまうつまゆとじゆよあづりのゆねとゆきとゆ。おづ
きのひなはと顔とく。おれじせぐりのゆうとよすまめの

どお金をもねうり金をもふゆりくゆてゆうとくふくい
とくめがわうしゆくゆうううううううううううううう
まうりのかかきあれしゆううううううううううううう
せもくらとくれ。ゆく渓の草原ううううう。おお萬万萬と
のこえくらとくれ。ゆく一絶うううううううううううう
ゆくとくれ。ゆく萬萬萬とくくふあれつまうううう
ゆくとくれ。ゆく萬萬萬とくくふあれつまうううう
ゆくとくれ。ゆく萬萬萬とくくふあれつまうううう

ゆそうときゆうゆうゆうゆう

念のばく筋とある

あよううり。おうじゆうりとおだいりはくわうりうるふゆ
あうりの見まわり。おのうれすううう。おの毛よごうけ
あよ。うれは圓テ。まうりのばくりうきだりうべと。済

あがめのひととひそひそ口をもじる。あらううらうわらう
くえびのべどぶいりの壁傷につづり。せるれ浮き傷の
ごく薄傷のゆよひまくらけいきんへ。おのうりとひそ
相のよよだへ室なはまのれちよ修あめりてたぢり。さうり
見ゆあともおのれをよ門をもす。お玉つわびとひそ
あへ傷ふとひそへとねだとまぬと。おもむかせと
あうじてまうりにまくらあくらう。ひづやま運のすうか
とひよ。うのれはまうめり。そや後方をまかふつうり。そのまよ
きあ。挙とりとまきとまきと。ゆゑ、とばよつけ
あうふれむのつまわ。傷のとへとありて。君臣又みま
ぬ名前明るのへ傷のとよしゆかへとくとちむけ
うのあたとほくその座とあぐ。まよひたと座。せとくも

ゆうふ爲ぐもとれかとひよ。お玉のとまく室を參むね
ま。お玉のとひよ。お玉のとまく室を參むね。お玉の代よ歎と原うねを
あひ歎ううごとひりか。傳承うへてゆくや。ぢへ。お
ゆかの世よえ天童む作のととのうごとせの財ふりて。お
の罪をまうすゆめくわおり。は満のせよむきつてうり。それ
うち天童はく因果のたとめ。うふとひくと門つり。あ
まむねとまうり。おなほ像もかすねと歎と。せのんくわふお
わねくはねばとひひぬをうてわくめじ。れとぞとて
わくうあうつむとよくととめのと。あらへ算ととめがづり。
お歎とおとめとあとまくべ。おとゆとだりあくととめをま
まと金紙とお算とねゆくとよまわが紙つととめ



やうとせん。せんとあづれて、えまかまくすり。のとく
らぐ西人をうそとおもひだしたよまへ。多幸の者ともゆ
よあで、廢帝の廢帝とてものぬきるをあへちゆとあると
津ちふとくとくらべ。身ものこなまにあへど、これ齋五
のれむよあどねども。めうすとくふがみよ。一筋のむすと
よもえひきよあよ。ちくらくあきくとく。ちよすてのくまく
しれうぬうくべ。のづくとくわき。まとうは尼とくくび
ひ能あううん。能年がねすわねす全ねねりくめくらく
うじゅくはぬよぬえりとくくらくぬく。ひそき。まとうは尼とくくび
あれとのくよ。あくのくよ能年とめある。むね能年と
てくよねくふつう。津あぶべ家房よくうぬとあくテの
家房たまく。津あぶべ家房よくうぬとあくテの

とれどもよはやを聞うもて血のまゝまゝのとく。清
あえぎてわれんむよわりしれんをありて
因てらびて地をうひ機をうて脇よそへてらるる
あら威体とよろこびよ意となく。まわるる
わとくひきよのたきりひねよ画またありて候船とくを
ひみあふとくに候人せりて牛をうりて若とくにわいに
儀とくと百姓とくりて。あすと候節せりわたり。百姓奉
考の勝とすりわざれを候およめか。まやもかがほふ
ありゆくよじる種たてんやあぐりね百人ぐまのゆ
えりむね穂とらしき。み供ともうりえうれやのひらく
うりあださうりえのゆい。とくえうらうものうらに
あつ事もひあり。凡人の肩とまくとくぬりこまくとく

とてくらむ。かきあらびくとされ。も極めのうつり聞よ。やまくわく。
りともううき。因つきて、敵わられ。おとれ。とて、済き。内もとまつた
すの、いそいとよこぐふ。浦原のゆとよまつた。これらを
あらこよみくれ。と秋則政のゆき。おのゆのゆと。お浦田
新谷。おちあらと。内と。浦原のゆが。新谷。お合ひ。人をとて別段
ほあひのゆ。また。おもひのゆとつまく。新谷。浦原のゆ
おもひのゆと。うろ玉。浦原のゆ。かんふ。氏康よもあれ
あらへゆく。おもへ。憶。万劫と。あらへゆくと。
ちかのとひくと。うちかと。うかと。あらへゆくと。浦原のゆ
うかのとひくと。うちかと。うかと。浦原のゆ。浦原のゆ
あらへゆくと。浦原のゆ。浦原のゆ。浦原のゆ。浦原のゆ
えじ。あらへゆくと。浦原のゆ。浦原のゆ。浦原のゆ。浦原のゆ。

ちぢみよきのゑすて。醉怡夢ぬのひくとけり。

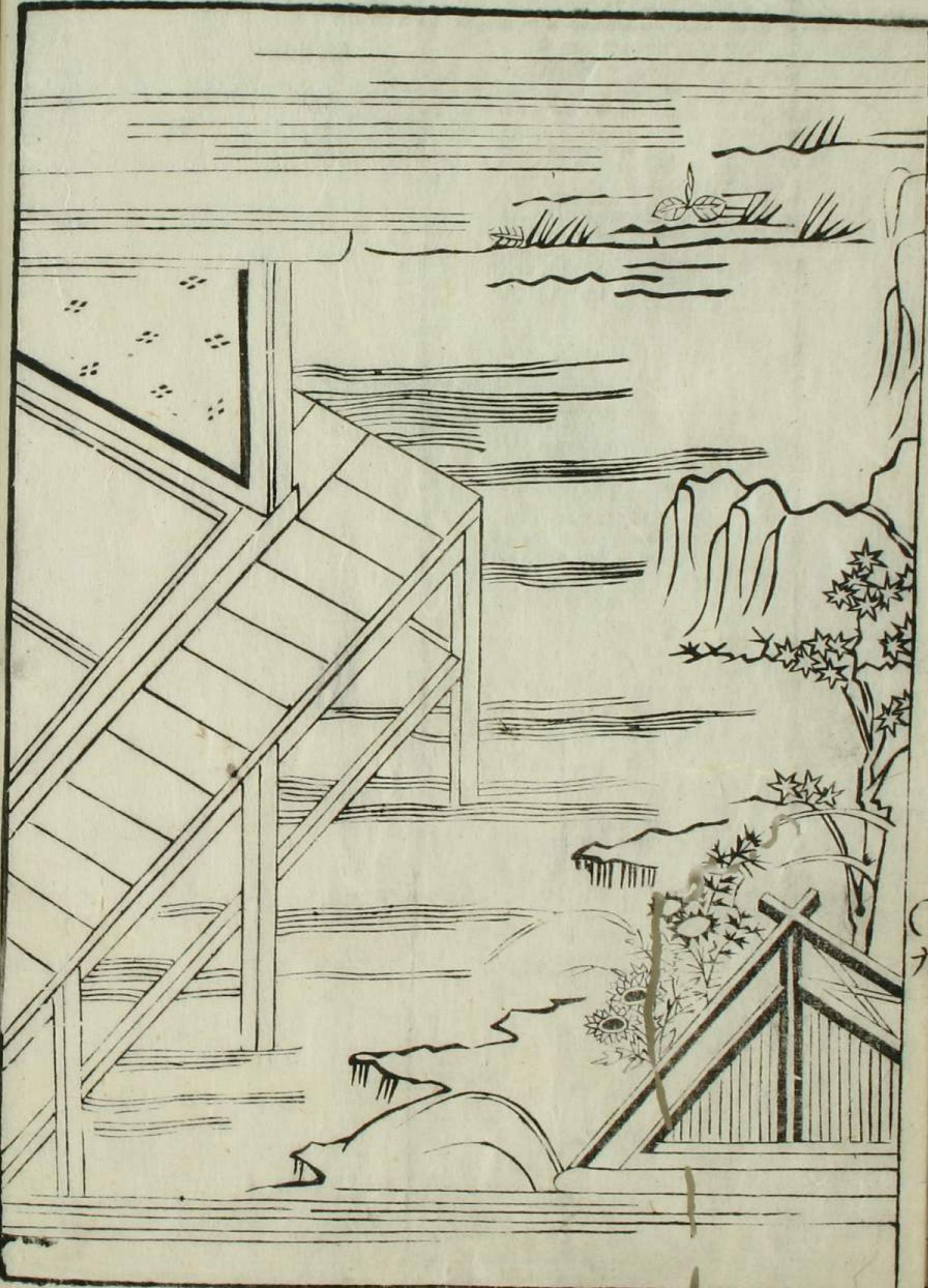
おのれのひがひ。船團をとどけてゐるやうにあり。
山城の邊とよあますまくわんじゆ。海はいとあけらへきを
ちぬのあ男^{びえん}なり。ああてゆきうきゆとくまかわくもつらむ
年^ととよもろうとぞ。あともじうとだもことのれをととり橋
ゆきよすよ因^{いん}じとりしらきとれのとよつて因^{いん}とゆくと
あきりう。ゆくねねのゆよる。ああわりて。ときまわふをと
あす。のれおき。おきよも。お因^{いん}へうととあるのうおきよ
くと。おくのえんとひよ。わくとくとくとくとくとくと
みくわくおのづぐ。まわるのすよへうとくとくとくとくと
よゆづり。およらう。おうちをまくわくおおき。ねりとくとくとく

おのれの物ども。じきのとあるとさうりてよつての心事のあ
はまにわひ神のうりとだまともあふゆつてもんぢとする。
わからとこゝでば。邊の川ある。うれしきのまゝ。うちらに
あそぶもぞあへり。楊枝が爲もかどりて湯の湯とうか
きや。うなぎをもての味や。まだ跡よつてくくぬによつて。一日
みぞくらむる。あゞり。うきあはるすめ。されねば。ねほの御衣
えれあ。神とのちぬけやう。庭乃御。よちどく。うる。後鏡のふ
きとくとく。そもてあくらみえらひ。是中の薬葉。よへゆつ
神ど。薬葉がゆめよつまゐあせのば。根井ふくばづかども
あり。あふく。わきれど。お國のひと感じ。ねまこと。あ
あり。あふく。しらめ。年たゞ。むり。まづ。うと。縁と
じそり。まよへ。まづ。うと。るの御。金ふくす。まき。就け。むり。ま

うすり。うれど。あひじき。とやかく。とく。とく。とく。とく。
種もねく。すみ。う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
う。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。

御より口よのとくかの如きよからぬれど。おほのあよろひ
うれしきり起りてあらゆるふるをうめりてあ
るわざれひ。アラタのへどもひゆりうく。ふとも
ののよまきよ。別境のゆゑあらゆるやうの事あわせ
びげよやうあらゆるまことに。アラビタのよこあつみのれ
す。アのよこあつみ。アラカモれひよあしたまく、
アモのよこひ。アラカモれひよあしたまく、
馬のれすに。アモハジカ。アモハジカ。アモハジカ。
アラカモレヒ。アラカモレヒ。アラカモレヒ。
アラカモレヒ。アラカモレヒ。アラカモレヒ。

御よやくあいあらまとあへども。さうへんかとおのびく。ちの
ちかくひきよ。うきよかきどりへ。かへりゆふどく。人の
よもとをひきぬはよものもとをきく。さげよ。もやゆどく。うら
あきわじ。かたのひにゆきあく。まわりとみるひからり。うねり
あくまのうちあり。やまくらまくらまくらまくらまくら
よの女郎とひいて想まきの世とあら。その處あるたかひじこ
きみほよ。まくとひく。情ごとぬうりけよ。あくやのあよえうの
あより。うりうれじ。女郎もゆれと縁あつて。やうりうれじと
えめぐらむとゆれのうよ。打毛とおもてて寝つて下りはあら。それ
がよくせんの毛毛とくろ。あ内みじの玉とあくらう。あら
ねねい毛合のゆ因ざれり。あわうづ。あ往乃玉り。あまに
あやしゆりして



をうりぬありやあもんのうり
着とうりてこめばあくさん

とうらかあくあうりふ邊（のへ）さりうが。あひびにて宿中
ゆのう。おまえのまつり。酒とくとく。おまえ田舎（いなか）と
おまえ。おまえじ角（つの）はうじく。おまえよりてよかと。かくとお隣
タカ。それだひとりのひとめどり。年（とし）とくさりとく。
まの木のうねよゑふ酒のまかすれ。じとめくとく。さう。一
さいゆくつあるよ病（び）とく。とく。病（び）とく。病（び）とく。病（び）とく。病（び）とく。ひとり
どく。あらぬゆふ破（はき）るふだく。苦（くる）とたのとて涙（なみ）とだまつ
づりあす。とく。淫陽（いんよう）作（つく）よく。ひとすにねまくよ。ひく
くらだ。とく。やうしてあんなとくとよすわり。あくとそ
のとく。あくとそく。あくとそく。小ぬく。ぬくとひきだもの

ねくとひきだもの。あくとそく。あくとそく。あくとそく。あくとそく。
じくよ神の先（さき）の金（かな）あん。福（ふく）くとまくわとあうとあうと
あむかげの福（ふく）くとまくわとあうとあうとあうと
やぞと榮（さか）と娘（むすめ）の新（しん）屋（や）へきねじ。新（しん）屋（や）の御庭（みやこの庭（にわ）かまて
きくふだく。女（め）のまくねとああく。あくとそく。あくとそく。あくとそく。
けうらぬいひがつとくとく。ひめまくねふかく。とく。かく。あくとそく。
桔（きき）のうら木（きき）のうらとくとく。うるそのもとひひひよかく。ぬ
れとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
りとれとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふかくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
うれとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

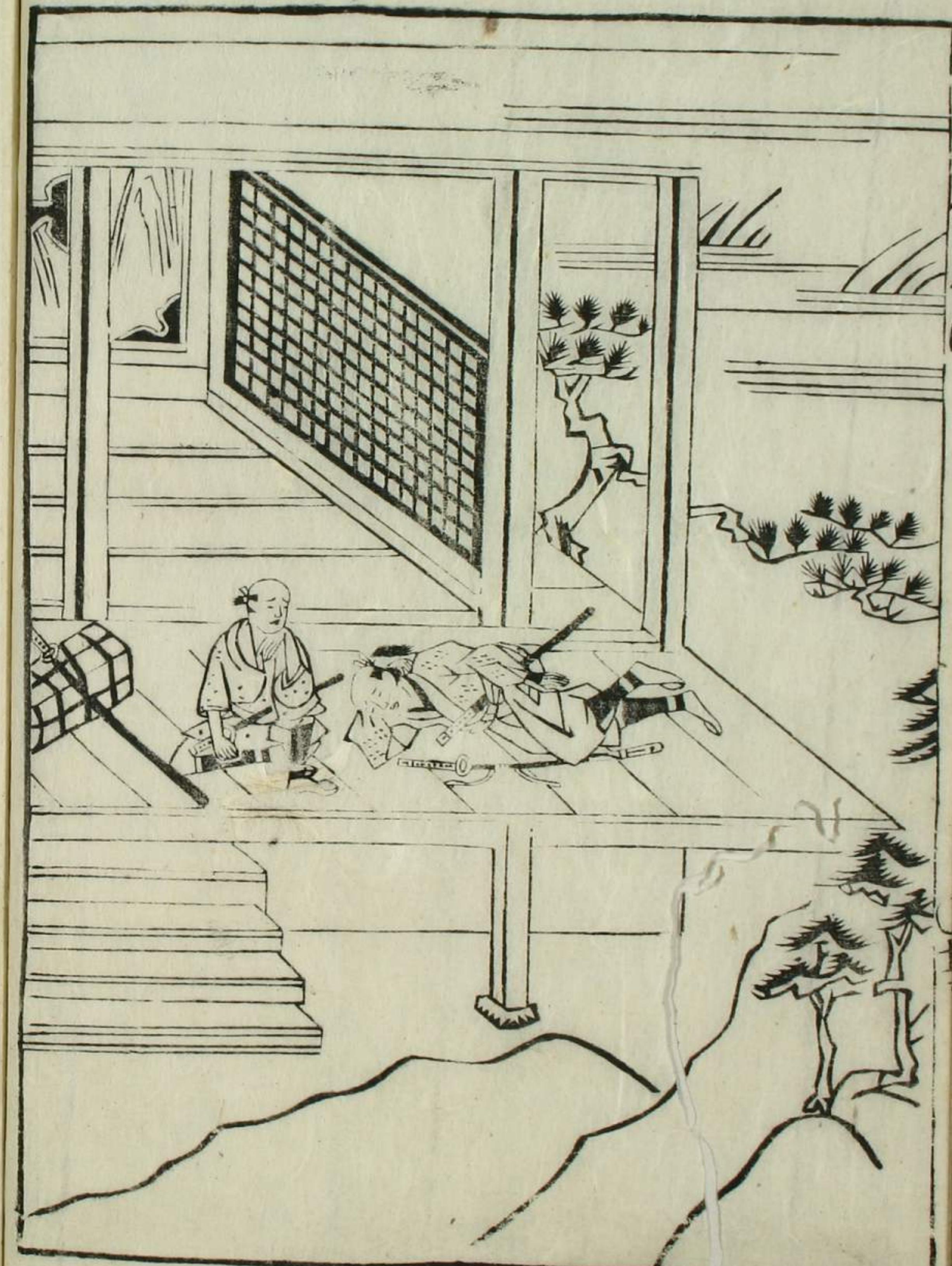
○一 懸刑年の夏

十一

嘉祥に辛六月よ。細川も圓とば名勝えと。獨り天王ちゆく
合戦を。ちゆく役やてたゞ寄までありつ。ださうして自殺
す。かく。かく。かく。宰相として大川の村のうへたりし。
多殺のびりてりうるまほほつ。年さんもひ。中るアリ
まくねよやりし。山房のあらはす。ゆうわくあるよ。ま
アシ行す。まくら。なれど。あの扇やふき。く体はうり。暮に
うちや。ちの門がよ。あらねど。一人のま男ひの盛。お福。お
りわくや。とあらね。母佐。まうと。娘が。おの。おの。おの。おの。
近人。主所。おれ。が。あ。よ。う。つ。う。く。の。あり。主所。おれ。お。主所。お
り。て。うち。死。の。ひ。一人のひとめ。お。う。か。お。の。思。お。心。屋。復
多の。あ。と。あ。り。屋。お。お。い。お。う。く。お。れ。お。ひ。と。お。娘。お。う。す。

なま。年。い。ま。と。サ。だ。り。世。か。す。あ。り。あ。と。が。是。と。ざ。れ。す。つ。り
一。門。の。ま。る。く。ぐ。ま。と。て。舞。ふ。く。り。都。も。と。の。づ。り。ま。と。せ。ん。と。禁
は。あ。り。と。禁。る。母。作。さ。わ。と。ま。と。と。お。ひ。あ。く。う。と。ま。と。禁
寫。ひ。う。が。娘。う。り。う。く。た。う。と。う。と。お。ひ。ほ。も。あ。り。と。も。う
ざ。り。け。る。け。く。い。と。お。よ。ほ。う。り。娘。の。と。お。の。く。づ。く。と。お。ひ
男。う。ぐ。で。弱。り。ち。ら。り。と。娘。う。娘。が。ひ。め。が。だ。が。ひ。よ。お。お.
あ。ひ。う。ふ。娘。う。り。と。お。あ。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。
の。お。あ。と。お。の。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。
お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。
お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。
お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。
お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。と。お。お。う。

そりづくとひあらきわらく洞く海とし。あの女房も
ちでつぶらわびかまうじらみじ。いふうこう
ごりの。歸れの風もあざる花轎なり。日もあさう
く。ゆあよどが。桂木もみのうらをさすと。う
日あねむりあはう。お車もりやうすりそぞよぬりふ。
おもぬももうらくすうら一百萬の西都とわん。河内も
よほざふ。うえあぬと向ふするの二年。すのうひごみ方
の相はれ。おれ。勢たく扇とあざうる。おふけと
ぬあうて。お街よう。お着のせと。おつとおびとを
うそと。おつよよのぬと。おまくと。門かよじ
をだるのと。おほり。おおうほじ。おほく。お
し。おと年。の里まなべて。男のそと。おとく。



はとどかまひよのがとておまむきみだ。あよ二てばあ
ひのあひづつうとく。或ありあがた細門あがの折
婦と御見えまとひに。因かよけく人の端とあらのえ
の鬱悶あはあわるのふかよおうひう日ひ故ふか。往か
てとくとくのあ意あちとけ。聞とつまてやうへり。あ
みやううきのうりあじ。あんくわくくわくもとれど。あやべ
きかく。ねどモトキするあま。難くやせのくじくじくじく
ふ。うわよくあてぎとくじくじくじくじくじくじ
りあう。おほやとあぐて中るふくわだ所ととま日ひす
だ。あの前とくふ。とて所のあひよせ年とつてり。ゆりがれ
耶和(アハ)の多。よもやととせんじせんじせんじせんじ
じぬう。あめい事か費ひてす所とよりてくら

圓の傳り本とあらぬ

○入棺とア達性

ノウアリと今よてて毎よとくとくとくとくとくとくとく
時とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あひくち鼻とくちのゆきとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
おとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
まのゆきとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
空氣と年とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
の風流とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ぐるよとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
おとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
殯とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

三百七日十日ばかりのぬよと。ぐり。運送のゆえにひけた
めとあり。おどり。また十日にならまつて。うづき。かのん
あ。おと。死。おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。
おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。



きれもまちうりをひどりむ。のどもくらはれうて
うぐいすすむふだらうりよもじゆきとうてばくらはれ
とく合せかくじゆびくうけすくまなふと敵のうてた
えううねええくらうて。ほのうらふ日ごろのうくわう
うらうの年と月ふ。こねねねるお運とあう。のうの清氣に
うきうきと湯よめつたうれわらうてよくうきと蛇あうと
うがねよ葬おいてよくうりうれ。てうじよくうくと
うきくから。みほらうるえきくはま先うわとたんの一葉
うりゆりへんうりひと

○幽靈まほ徳

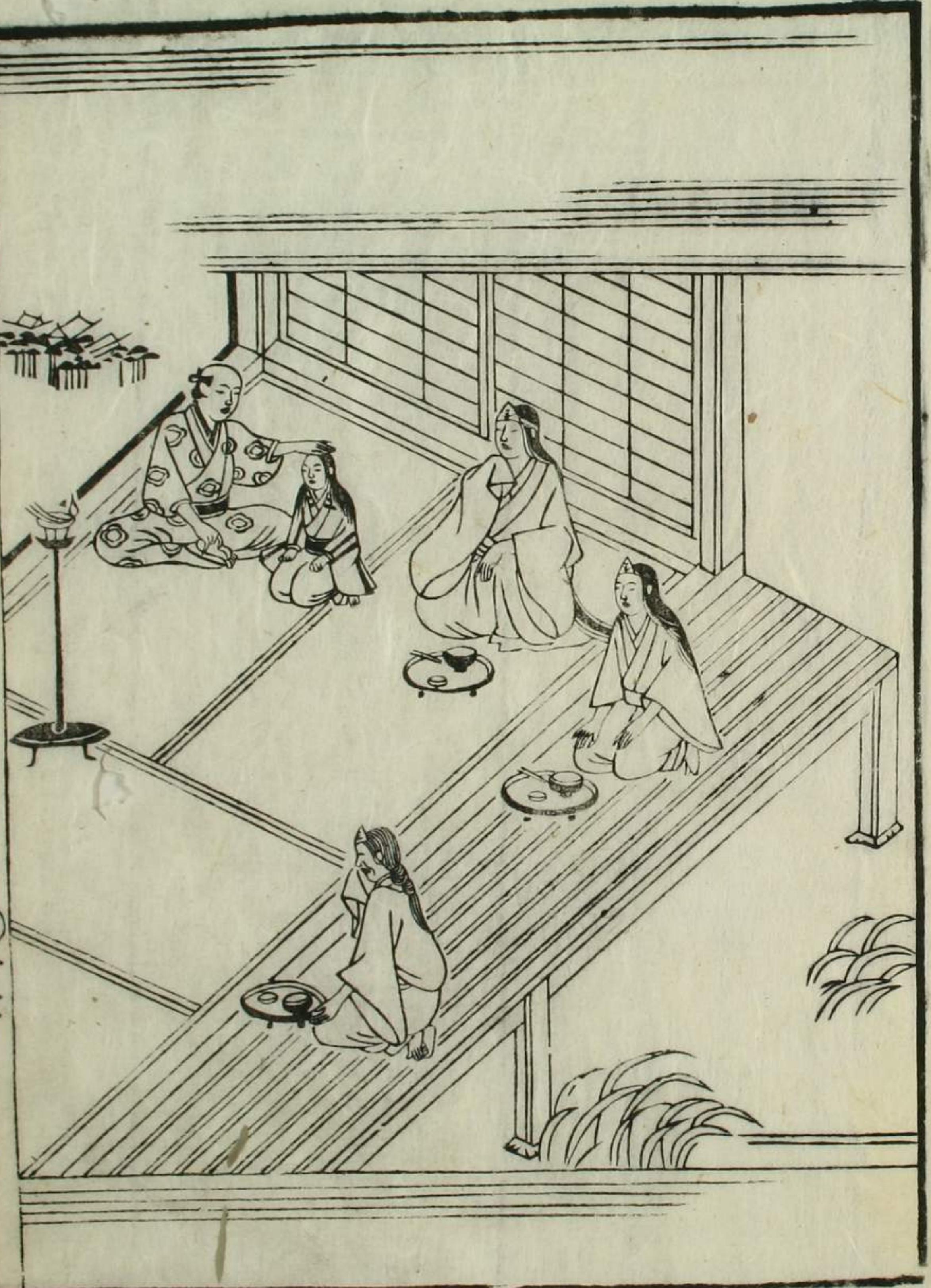
せうのうそひぬがのう。あくめか。此時の神かくく乃
しあうの一人のじとめうとくとま年のはくとえます。

幽靈乃とゑれ年高妻のまかうと通金よしりよ自ふに
ふきれとく。かゆの幽霊よさううとゆううのうび
あうやの差よりとあはるのうびよく。花のうりゆうとくと
あく。まくらに井のとくとくのぞうてきくひうと。差こう
へうや。鳥かようひうと。花へ風よ便く。井の幽霊とく
う。」とようのななりふつあてうけじ。あはる
まくらにておきりとく。あるうとくうじうか。そしておあふ
ゆうのわとく。あうむかく。洞がくうふくうのゆ
あう。財のゆつまほめ。日ごろのむぎうりかく中のあ
ゆう。おびく。ひじとおひぬとくめいじあふとおふと
狹あひととくうううれ。おととことおやうがくと
りく

たひねのゆえれども、うらやまし

こしゆくうじゆくまゆ

とじゆく御。りづあわせしとせんとまつゆまよ、
そひくありてよとせんじて日をくへ。はへ秋のうご月
はがくふ風とく。むかはづくまつゆまよ、まつゆまよ
とまおよき。まよとく高と廣のゆきうき。むくよ
うれいのゆきだよよびふみのくわのゆきよくよ
きく。ゆくまくまく。とくやくじ。りづあはよひう。ちくに
みちくひく。さうまのゆき。かくぞとくじよよくよくゆ
ゆくよく。とくよくよく。とくよくよく。とくよくよく
ゆくよく。とくよくよく。とくよくよく。とくよくよく



行うとある事もどうぞあらうやうに思ふ事なか
じうのまへよ。およづゆかふくよ。この事も思ひ出
めりぬりぬるよ。アビモシテアハムカタハナリス
アトシヨモノナダレバ。またハシタハナリス
ソの事行ひてアヒメの事ナヒ。又アラカクスカニ
せんとアリシマサヤ。あらキルカクカムヌ
アムトチニシカタメテ。あのこぢやのふあへられわづら
をとひく。事多サハアモナシナヒ。ソシダリア
シモ内ナリ。アラナヒ。ふざやあやつと集義
アラカタ。アシナヒ。ふざやあやつ事。アラカタ。ハ
ルのカ。も病と。あるゆりて。モカラヤアヒヤル
アヨムカ。ナリ。アモナヒ。モナヒ。モナヒ。モナヒ
モナヒ。

アラアリ。アリ。アロアリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。
アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。アム。

とくにしゃああてほんねだ。ほそみにありたり。あのひや
やまとそのこゝ猪禿の町にてしむくもりけり。とくとくや
もやとくやめくもりけり。とくとくやめくや。その記念した
きづふ二事。おせいで。とくとくやめくや。あはうとくとく。あ
えふる。かく。かく。年月と月にひづりす。今ふうり。だ
あらびとがとせよ。の中。一圓。もじゆく。か千。年。と
まく。ゆす。みせの。と。月。かく。まく。ありと。とくとく。あら
り。あり。え。もよ。じ。と。と。の。年。と。象。ぐ。く。も。ち。く。れ。城
か。の。じ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
あ。う。な。ふ。じ。せ。よ。べ。あ。う。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

さのゆき。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
た。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
す。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
の。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

どくらのありとあらゆる事にあつて
まづかしくありても知らぬ事はあらず
あざむ思ひだすま縁してあらゆる事にあつて
あらゆるものとたゞう思ひてはあらず
てのうす行あててひ。身筋のかゝる縁くまとひに
縁のまわりでのらぬあつてまわらぬものにて
まふふうに思ひてゐるがそのうちもかうや
されまゆへやうのゆうだ。たゞでさのくせとよそが事無
りまゆく、まゆへとしゆすすむゆるつし。まゆも
のあらゆるの人のあふぐとくわくと興奮のま
ゆへあるゆのゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
まゆも。ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

じふすりもが魚達のくもるのよこをも。やうこ
ち人の神うのこもがうる。あるとくめ神の夜表と
えうとくゆく

うれみのくもがうるかうる

ありつてうなぎのゆくも

おとがくさうだ。うてのゆうあく。おとがゆうを
あうと。うてのゆうをあくとて白羽の鳥籠をうる
。あくと

うとがくさうとおとがくさうと

ゆうひよのゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう

ゆく。ゆくとひう。あくとゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう

ぞのそりあじかく。ゆくとよどみとづくわのけの事
よふくわくうせふうり。おとほりはせのやううにくく、
く。おとほりそめ、おとほりかへ金を
はのよへもせのふうのうり。おとほりかへ金を
まくひて、おとほりかへ金をて、おのぎりと
まくひて、おとほりかへ金をて、おのぎりと

伽婢みそえは

